

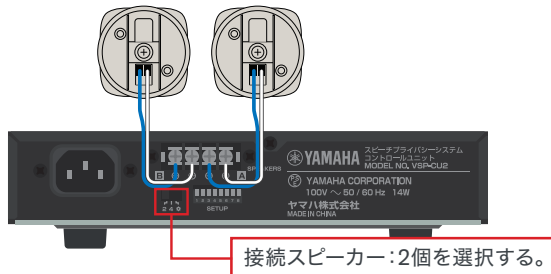


## スピーカーの接続ルール

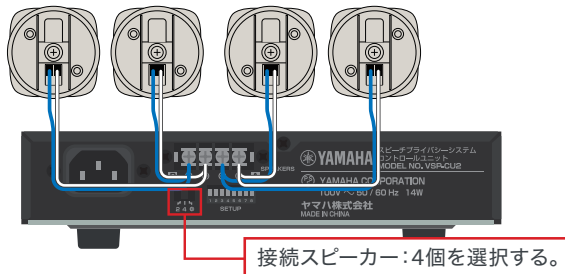
### 接続個数のルール

- ・コントロールユニット1つに対し、**2個または4個**接続です
- ・**奇数個**の接続はできません
- ・歯車(⚙)は使用しません

**スピーカー2個接続の場合** スピーカー端子A、Bにそれぞれ1台ずつ接続する。

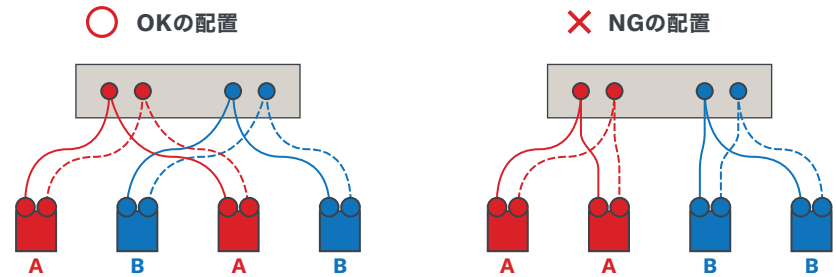


**スピーカー4個接続の場合** スピーカー端子A、Bにそれぞれ2台ずつ接続する。



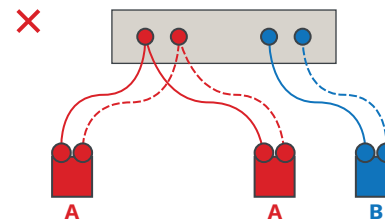
### 設置方法のルール

- ・Aチャンネル、Bチャンネル接続されたスピーカーを交互に配置  
それぞれのスピーカーから出る音の干渉が減り、不快感が軽減します。



### 注意点

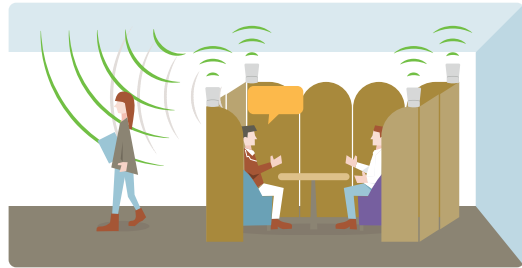
- ・不快感の軽減のため、スピーカーは**なるべく多く接続してください**  
1個あたりの**音量を小さく**ことができ、音が気になりづらくなります。  
→設計上、奇数個になりそうな場合は、**+1個**でレイアウトしてください。



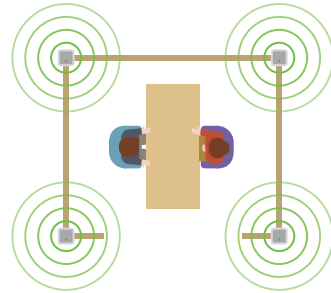
左のような接続をした場合、各チャンネルのトータルインピーダンスが変わり、アンプへの負荷がチャンネル間でアンバランスになるため、故障の原因となります。

# シーン別推奨設置

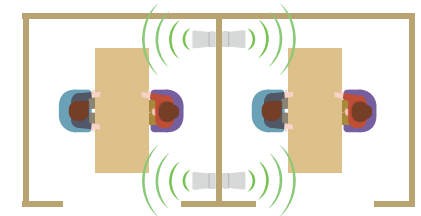
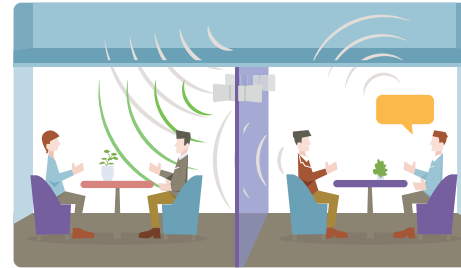
## SCENE ① パーテーション



📶 会話の音漏れ    📶 VSP-2の情報マスキング音

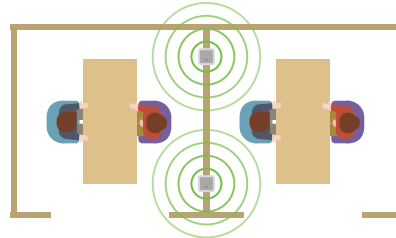
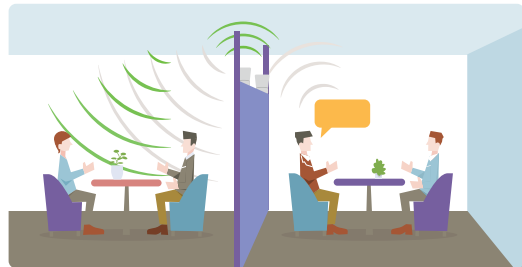


## SCENE ④ 隣接した壁

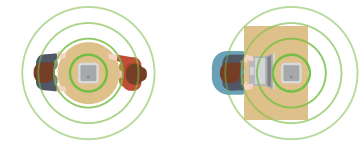
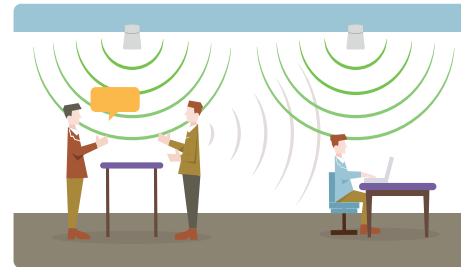


## SCENE ② 欄間オープン

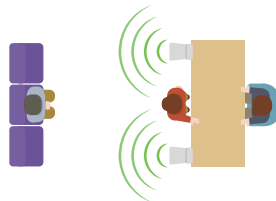
設置できない場合や効果が低い場合、SCENE4の位置に設置してください



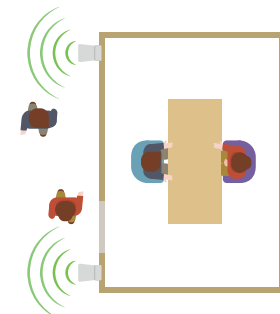
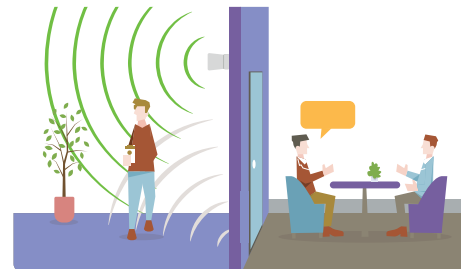
## SCENE ⑤ オープンエリア



## SCENE ③ カウンター



## SCENE ⑥ ドアの間隙



# スピーカーの取付位置ルール①

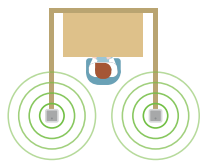
## パーティションの取付位置 (SCENE ①)

- パーティション上部に上向きに設置する
- 高さは1.6m以上でマスキング効果を得られやすい
- コーナー部付近に配置し、垂直またはブース外に傾ける

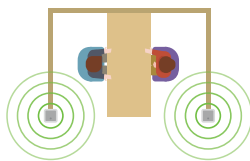
パーティション設置の場合



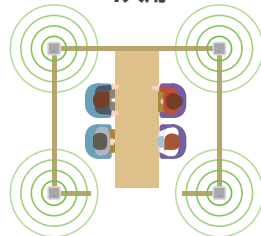
1人用



2人用



4人用



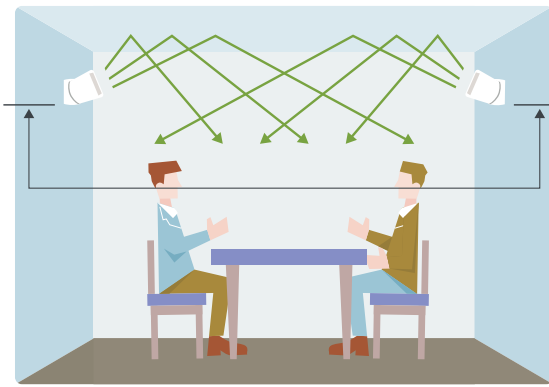
## 壁の取付位置 (SCENE ②④⑥)

- 人に対して直接ではなく、なるべく間接的に音が届くようにスピーカーを設置する
- スピーカー間の距離は4m以内で設置する

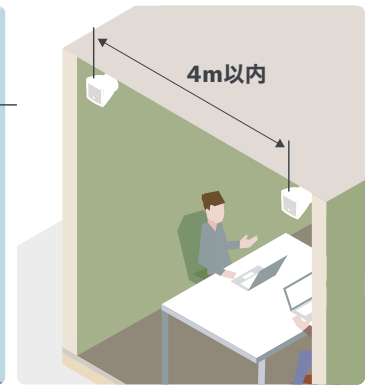
壁面設置の場合



耳よりも高い位置に(床から)2m以上を推奨



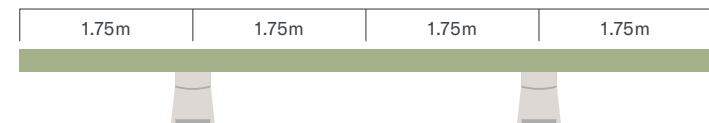
部屋内(壁面設置)の例



廊下側(壁面設置)の例

- 取り付ける壁面に、下記のように均等配置にする

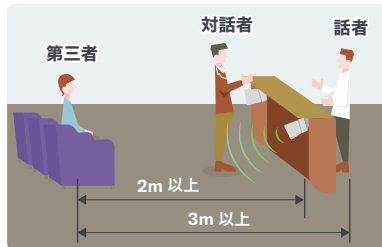
例) 7mの場合



## スピーカーの取付位置ルール②

### カウンターの取付位置 (SCENE ③)

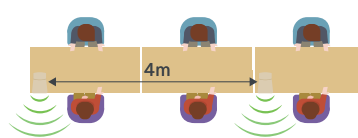
#### 話者と第三者、スピーカーの推奨距離



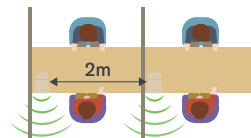
・話者から3m以上、スピーカーからは2m以上の距離を取るとマスキング効果を得られやすい

#### スピーカー同士の距離

- ①カウンターが区切られていない場合    ②パーティションで区切られている場合



スピーカー同士の距離は4m以内



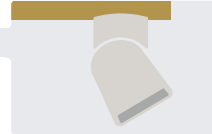
スピーカー同士の距離は2m以内

#### スピーカーの設置位置 (断面)



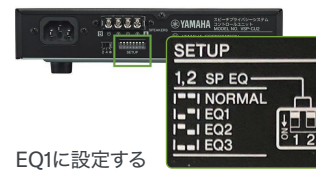
カウンター天板裏・手前に設置

#### スピーカーの向き



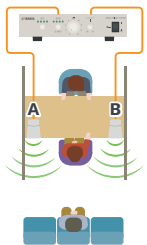
第三者へ向け、少しあおる

#### EQ設定



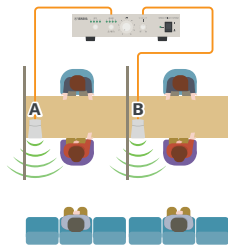
EQ1に設定する

#### カウンター 1席



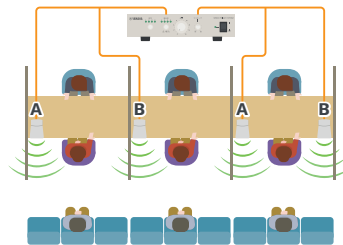
カウンター天板裏の両脇に設置

#### カウンター 2席



カウンター天板裏 (左寄せ or 右寄せどちらでも可) に設置

#### カウンター 3席



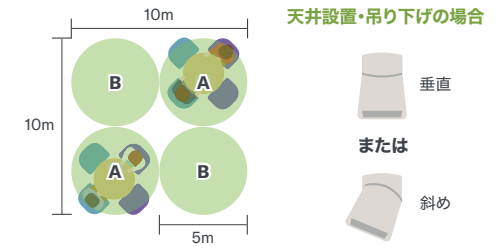
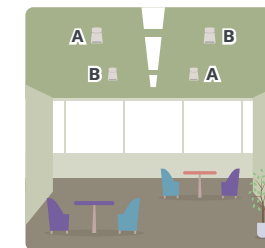
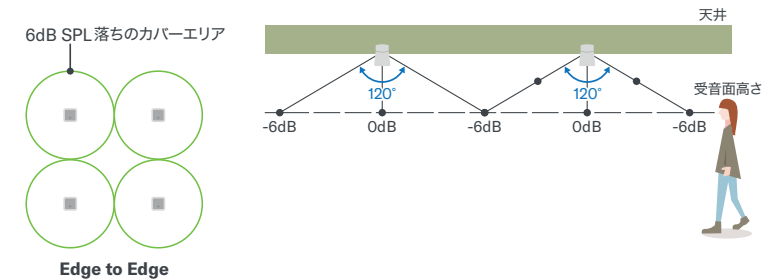
カウンター天板裏 (左寄せ or 右寄せどちらでも可) に設置

### 天井の取付位置 (SCENE ⑤)

#### Edge to Edge

6dB SPL 落ちカバーエリア同士を合わせる方法です。

※dB SPLとは: 音圧レベルの単位



広指向角のスピーカーは小型ながらも、天井に4個のスピーカーを均等配置すると、下記のような広さをマスキングできます。

(耳の高さが床から1.2m(着座)~1.5m(立位)を想定)

・天井高さ3mの場合: 約100㎡(スピーカー1つあたり、直径約5mの円状) ※上図

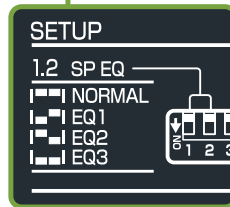
・天井高さ2.6mの場合: 約64㎡(スピーカー1つあたり、直径約4mの円状)

※共に立位状態にて計算

## 音響調整機能

### 音響調整用のスイッチ

- 現場の設置環境や音の間こえた方に合わせ、  
音の**周波数を調整**し、不快感を低減する調整機能です



1と2のスイッチを下げることで、  
音の調整ができます。

- 各設定は下記のような内容です

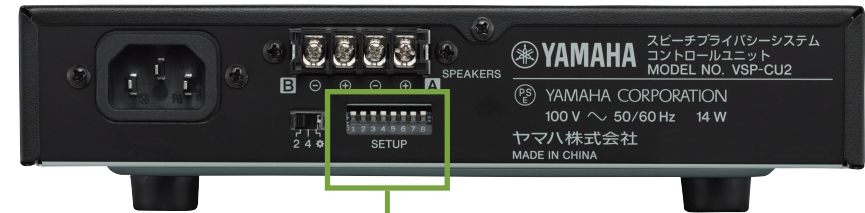
- NORMAL**: 標準の周波数特性です
- EQ1**: NORMALに比べ、高音域のレベルを落とします
- EQ2**: NORMALに比べ、低音域のレベルを落とします

※聴感上、不快と感じられた際に必要に応じてご調整ください。

※3～7のセットアップスイッチは使用しません。

### ロック機能

- 全ての設定が終わった後に、その設定をロックすることができます
- 「音色・演出音選択」「音量」「情報マスキング音比率」をロックできます



- 8のセットアップスイッチを下げるとロックがON状態になります

- **ロック中の注意点**

- ロック中はフロントパネルの電源ランプ以外は消灯します
- ロック中にフロントパネルのつまみを操作するとランプが約5秒点滅します